卓球日本L
十六銀チー

古田肇知事に総合優勝を報告した十六

初の日本地図、巨大レプリカで登場
世界の貴重地図 県図書館に一堂

世界各国の貴重な地図を集めた展示会が18日、岐阜市宇佐の県図書館で始まった。7月に東京都内で開かれた国際地図学会議で展示された地図や、江戸時代の地理学者長久保赤水が歴史上初めて完成させた日本地図「改正日本輿地路程全図（赤水図）」の巨大レプリカなど県内初披露の地図が並び、来場者が見入っている。27日まで。

同会議は国際地図学協会が2年ごとに開き、国内では39年ぶりの開催だった。展示会では会議に出展された385点のうち約20点を展示した。秋篠宮ご夫妻と長男悠仁さまが閲覧された地図7点、各国の国民性や独自の工夫が見られる海図4点、ヘブライ語で描かれたイスラエルの国地図や南半球が北側に描かれた逆さ世界地図などがずらり。

赤水図の縦4・23㍍、横6・44㍍の巨大レプリカも展示。現在も残る地名や名所、当時噴火していた山々などが詳細に記されており来場者の目を引いていた。

同会議組織委員の宇根寛さんは「これだけ貴重な地図が集まる展示会は東京でもそれほどない」、長久保赤水顕彰会の佐川春久会長は「赤水図はぜひ地元の子どもたちに見てもらいたい」と来場を呼び掛けた。（武藤直子）

長久保赤水による「改正日本輿地路程全図」の巨大レプリカに見入る来場者＝岐阜市宇佐、県図書館

「自分の長所を発揮して」
世界陸上「銅」為末さん講演
県岐阜商

陸上400㍍ハードルの元五輪代表で世界陸上銅メダリストの為末大さんが、岐阜市則武新屋敷の県立岐阜商業高校で講演し、全校生徒ら約1200人に「自らの特長をよく知り、どこで長所を発揮して戦えるのかを考えて」と語り掛けた。

為末さんは同競技の日本記録保持者。引退後は、アジアで陸上選手のコーチング事業に携わっている。

短距離走選手だった高校時代、足の回転数が伸び悩む一方で大きかった歩幅を生かすため、ハードルに転向した経験に触れ、「本当に大事な才能は自分では分からない。周りの人が見つけられるかが大事」と話した。2000年のシドニー五輪予選で転倒した経験をばねに1人で国外大会に挑戦し、世界陸上のメダル獲得につなげたことを紹介。

「過去の失敗が今の自分をつくる上で欠かせない出来事にもなる」と語った。

生徒には「職業を夢にするのではなく、実現したいことのために仕事をつくれる時代」と語り、「自分で考え、工夫する楽しさを知って」とエールを送った。（亀山大樹）

「自分の長所をどこで発揮できるか考えて」と高校生らに語る為末大さん＝岐阜市則武新屋敷、県立岐阜商業高校

■申し込み・問い合わせ　カルチャーアカデミー岐阜新聞・ぎふチャン、イオンモール大垣教室（大垣市外野2の100、イオンモール大垣2階）電話0584（47）5560

味覚、運動能力に影響
県岐阜商高で研修会

五感を活用した競技力向上などに取り組む日本味感学協会（東京）の理事吉田貴広さんを招いた研修会が、岐阜市則武新屋敷の県立岐阜商業高校で行われた。今月から来月にかけて行われる全国大会に出場する生徒が、日常の動作一つで、力の入り方や動きに影響があることなどを学んだ。

全国高校駅伝、全国高校バスケットボール選手権、全国高校バレーボール選抜優勝大会に出場を決める陸上部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部の生徒約50人が参加。上位進出を目指し、各自が最大限のパフォーマンスを発揮できるようにと行われた。

吉田貴広さんの指導で、力の入り方の違いを体験する生徒ら＝岐阜市則武新屋敷、県立岐阜商業高校

生徒は屈伸や足首を揺らすだけで、力が入りやすくなる人もいれば、逆に力が入りにくくなる人がいることを体感。苦味や甘味、酸味など5種類の味のマウスウオッシュを順になめ、味によって跳躍力などに影響があることも知った。女子バスケットボール部主将の高橋美穂さん(18)は「自分にも合った味覚などがあっ

つたえたい

県警の女性活躍プロジェクトチーム企画推進員として、女性警察官が輝ける職場づくりに励む。「出産すると子育てばかりに意識が向きがち。仕事にも意欲的にチャレンジできるよう、男性を含めた組織全体の意識改革を進めていきたい」と力を込める。53歳。

大口　淑子さん（岐阜市）　県警警務課警部補

チョウ標本作り 親子がこつ学ぶ
名和昆虫博物館で教室

岐阜市大宮町の名和昆虫博物館で、採集から時間がたち硬くなったチョウを標本にする方法「軟化展翅法」を学ぶ教室が行われ、県内外の親子約30人が名和哲夫館長らの手ほどきを受けて挑戦した＝写真＝。

同館の昆虫愛好者でつくる「昆虫楽会」が主催。参加者は、オオルリアゲハなど外国産の大型で美しいチョウ10種類ほどの中から好きなチョウを選んで取り組んだ。数日間水に浸して湿り気を含ませたチョウをさらに柔らかくするため、子どもたちは、胸部に注射器で熱湯を入れたり、針で胴と羽をつなぐ筋肉を切ったりし、閉じていたチョウの羽が開くと笑顔を見せた。

揖斐郡大野町黒野の医師若原和彦さん(45)は「羽が開いた瞬間、美しくて感動した」、次男の広和君(6)は「羽の筋肉を切るのが難しかった」と話した。名和館長は「たくさん作ると体で覚えてくる。奥が深くてやりがいのある分野」と話した。標本は約1カ月間乾燥させて完成する。22日も同館で硬くなったカブトムシなどの標本作りの教室を実施。午後1時30分から。参加費は会員1500円、一般2500円。問い合わせ、申し込みは同館、電話058（262）8388。（佐名妙予）

クイズの答えは

首相在職日数が上位の安倍首相、桂太郎、佐藤栄作、伊藤博文はいずれも山口県（旧長州藩）出身だよ。

（問題は1面に）

冷蔵庫を開けても、暫くは座薬のライラしたが、ドアポケットにある戻った。

「四〇度を超えちゃってるわね」

「やっぱり、救急車呼ぶよ」

「座薬を入れたらきっと大丈夫。だ乳瓶は？」

「まだ。すぐ見付けて、水入れてキッチンのあらゆる棚を探して、押し込まれたほ乳瓶を見付けると、ほ乳瓶でミルクをあげていた頃の湯で消毒した上で、水を入れて子どう喬太の意識は戻らない。

母が、話しかけながら丁寧に体を拭ほ乳瓶を渡すと、母は喬太の口元もうとする素振りも見せなかった。

「やっぱり、病院連れて行こう。母「今、座薬入れたから、落ち着くと「そうなったらうれしいけど、とに連れて行く。だから頼むよ」

母は了解してくれた様子で、部屋ほ乳瓶を捜し続けていると、子どもした。

確か、子ども部屋に喬太用の救急箱り、自分で行く方が早い。子ども部屋っ張り出した。

「熱さまシートもあるじゃない。あっ庫に解熱剤の座薬があったわ。あれをもう、ここは母に任せようと思った「すぐ、取ってくる！」

冷蔵庫に走った。廊下でフラついてよりによってこんな時に……。